

令和4年度和歌山県立那賀高等学校第1回学校運営協議会議事録

1 日 時 令和4年6月22日(水) 13:00~15:00

2 会 場 那賀高等学校 応接室

3 日 程

(1) 開 会

(2) 校長あいさつ

委員への出席に対するお礼

(3) 学校運営協議会委員自己紹介

各委員からの自己紹介及び学校関係者の紹介

出席：岸田 正幸 細田 能成 大西 英喜 東 博子 森 勝博

欠席：福山 晴美

傍聴者：教頭 事務長 進路部長 2学年主任 3学年主任

(4) 学校運営協議会 会長(議長)、副会長選出

会長：岸田 正幸 氏 副会長：細田 能成 氏

(5) 協議題

ア 令和4年度和歌山県立那賀高等学校 運営方針について

校長から説明

学校要覧から教育目標、スクールポリシーについて詳しく説明し、那賀高校は「地域のリーダーを育てる」という目標に基づきカリキュラムマネジメントを進めていくと述べた。

(意見)

- ・ 学校運営協議会は、その位置付けとして学校運営上の大きな権限を持っているからこそ重要な役割を担っている。小学校では2000人程度の関係者が関わっているが、県内の高等学校では、そのような組織となっていないのが現状ある。その中で、那賀高校は、2年生を対象にして、地域と関わり合いをもって活動していこうと今まで進めてきた。
- ・ 令和3年度と令和4年度の学校評価シートと提示し、昨年度の成果から本年度の4つの重点目標について説明した。

【重点目標】

- 1 今年度の年間指導計画と過去3年間の授業時数を基に、今年度の指導計画の立案・実行
- 2 昨年度の進路実績等の状況を参考に、3年生の進路実現に向けた取組を実践。
- 3 令和2年度より分掌再編した中で、「チーム」と「リスペクト」を意識した学校運営の実施。
- 4 学校創立100周年記念式典の実施。
 - ・ 1つ目の重点目標に授業時数を基に・・・と挙げているのはなぜか。
 - ・ 近年は、コロナ禍により学校行事を中止や縮小してきたが、最近の状況では、少しずつ実施できるようになってきている。それゆえ、授業時数を確保した上で、学校行事の重要性を再確認しながら実施できる方向で計画し実行していくという意味である。

- ・ 3つ目の目的は何か。
- ・ 分掌を再編した中で様々な問題もでてきている。本年度は各分掌とも新部長であるため、職員全体が「チーム」と「リスペクト」を意識した中で舵を切り運営していくことが大切である。
- ・ 進路状況をみると国公立大学への進学が減ってきているのではないか。
- ・ 近年の状況では、大きな増減はない。近年は、生徒が本当に行きたい進路の実現に向けて指導を行っている。就職指導においても同じ考え方で進めている。
- ・ 教育系、医療看護系への進学が多くなってきている。
- ・ 関西圏が多い。
- ・ 昨年度は、北海道や沖縄県にも進学した。
- ・ 保護者は進路実績においてどのように思っているか。放課後の補習授業などはどのような実施状況か。
- ・ 子供の進学経験から、那賀高校は補習授業や面接指導が充実している。
- ・ 平常補習・夏期補習・面接指導・集団討論指導などの体制を整えて進路指導を行っている。
- ・ 不登校生徒はいるか。
- ・ 様々な理由で登校していない生徒は少数いる。
- ・ コロナ禍やICT活用に加え、本年度から1学年に対する新学習指導要領の適用など、教員の業務量がかなり増えている現状にある。そのような中で、不登校生徒への対応などを含め、生徒と接する時間を確保していくことが大切となってきたため、業務の改善が必要である。
- ・ 外部指導者の活用はどのようなようであるか。
- ・ 和歌山県の運動部外部指導者活用事業は年間に原則各校1名、20日間となっている。
- ・ 外部指導者を活用することの善し悪しが問われている。考査期間を無視した活動など勝利至上主義になることも考えられる。
- ・ 現在は過渡期であるためこれから社会が動いていくであろう。
- ・ 創立100周年記念式典の計画具合はどのようなか。
- ・ 10月23日の実施に向けて実行委員会で計画を進めている。7月13日に卒業生でもあり実行委員長の志賀俊之氏（元日産自動車取締役）の記念公演をイベントとして計画している。
- ・ 本年度の運営方針を承認してよいか。全員承認。

イ 令和4年度キャリア教育支援事業の実施について

校長から「総合的な探求の時間」における取組について説明を行う。①福祉・健康、②産業・観光・国際社会、③教育・ジェンダー、④環境・防災の4つの探求分野別に活動を実施している。本年度は那賀振興局とタイアップして事業を実施できるように検討している。

- ・ 年間の授業数は何時間あるか。
- ・ 30時間程度である。教務部長が主担当で10人程度の教員が、1クラス約20名の生徒の授業を展開している。探究活動のまとめとして発表を計画して

いる。昨年度は教室での発表であった。

- ・ 第2回運営協議会は「総合的な探求の時間」に合わせて実施する。

ウ 令和4年度本校運営協議会が主催する事業について
状況をみながら検討していく。

エ その他

- ・ 那賀高校創立100周年記念講演会の開催について
志賀俊之氏の講演を計画している。視聴覚教室にクラスの代表2名が入り、その他はリモートで講演会に参加する。
- ・ きのくにコミュニティスクールの実態と意識に関する調査の実施について
岸田会長が代表でアンケートに回答する。
- ・ 那賀地方の中学校が制服を変更するが、那賀高校はどのようなか。
制服を変更するということは、生徒や保護者の意見を参考にしながら慎重に検討していく必要があるが、それぞれの意見は様々であるのが現状である。女子のリボンについても様々な意見がある。そのような中でも現代の様々な諸問題に適応していく必要もあるため検討中である。
- ・ 熱中症対策について
熱中症対策と感染症対策を同時に行っていかななくてはならないため、生徒のマスクの取り扱いが難しい状況である。マスクを外すことが困難になってきている生徒もいる現状である。
- ・ 文化祭、体育祭について
可能な範囲で実施していく。生徒の成就感が得られる重要な行事である。
- ・ 学校説明会について
本年度も説明はホームページによるビデオ視聴で行う。クラブ見学会は2回実施する。動画は「学校紹介」「カリキュラム説明」「進路指導説明」「国際教育説明」の4つを作成している

(6) 閉会

校長謝辞

4 資料

(1) 令和4年度学校要覧

- ・ 令和4年度和歌山県立那賀高等学校 運営方針 教育目標
- ・ スクールポリシー

(2) 令和3・4年度学校評価シート

(3) 令和4年度那賀高校 地域貢献報告及び計画

(4) 「総合的な探求の時間」授業内容

(5) 令和4年度入学生用学校案内パンフレット

(6) 令和3年度育友会だより、国際教育通信

(7) きのくにコミュニティスクールリーフレット

(8) 和歌山県高等学校運営協議会規則

